

## 2023年度 帰国生選抜 「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験（芸術学科は小論文）		面接	
	狙い・意図		狙い・意図	
日本画	「けん玉、色紙、紙風船、金柑を自由に構成し描く。」 正確なプロポーションをとることができているか。 モチーフの特徴を捉え、その魅力を的確に表現しているか。 木、紙、柑橘類の質感の描き分けができているか等。 色彩の組み合わせの美しさ、的確な空間表現が感じられ、 全体として魅力的な画面を作ること成功しているかを評価した。		実技試験作品・持ち込み作品の解説やコンセプト、質疑応答について、こちらの意図を理解し日本語で説明できるかを重視しました。	
油画	今回のモチーフは鏡だった。鏡には教室内の風景が映り込み、鏡の裏側や向こう側も見える複雑な空間となっている。このモチーフのどこに注目し、何を表現しようとしたのかという発想力や独創性を問う。 同時にデッサン力、構成力など基礎的な力を見極めることを意図した。		実技試験ではどこに注目し何を表現しようとしたのか、また提出作品は何を意図したのか、入学後のビジョンはあるのかなどを総合的に判断した。	
版画				
彫刻	1_現在までに習得している技術、2_即興的な発想力、両方のバランスを見る。当日の新聞を素材としているのは、2.の即興的な発想に対し、選択肢になるべく広い幅を持たせ、瞬発力を見るためである。世の中の出来事に関心を持つ者、ひとつのワードから想像力を膨らませる者、ストーリーを構築する者。複数の観点から総合的に評価をする。 学生が「現在持っている力」と同時に、「入学後のポテンシャル」が最大の評価基準になる。		・デッサン(実技試験)に意図したこと ・基本的な言語/コミュニケーション能力 ・美術以外の関心も含めた簡潔な自己紹介 ・作品ファイルの中から気に入った作品をランダムに質問	
工芸				
グラフィックデザイン	鉛筆デッサン ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の意図や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか	面接 ・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか		
プロダクトデザイン	・理解力=問題の把握、理解が適切か ・発想力=アイデアが優れているか ・独創性=他にないアイデアか ・実現力=アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力=アイデアが伝わる表現か	・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか		
テキスタイルデザイン	鉛筆デッサンでは、観察力と基礎的描写力に加え、理解力（出題の意図を把握し理解しているか）を問うことをねらいとし出題しました。モチーフとして「プラスチックケースに入ったミニトマト」を配布し、配布したモチーフは全て描くことを条件として明記することで、日本語で出題された問題文の読解力を測る基準としました。 色彩構成では、表現力（独自の色彩世界が携帯構成と調和的に表現されているか）、伝達力（制作のテーマが見るものに伝わるように表現されているか）に加え、完成度（表現材料の扱いが丁寧で、仕上がり感が優れているか）を評価することをねらいとして出題しました。	受験者が授業についていくことのできる十分な日本語能力と、持参作品の造形力を評価しました。 テキスタイルデザインを学ぶ熱意や志望動機を明確に説明できるかと、海外での教育経験を生かし、在学生に刺激を与える存在であるかを評価の対象とし採点のポイントとしました。		
環境デザイン	環境デザインが対象とする領域は、身の周りの小さなスケールから、都市のような大きなスケールまで様々です。あるモノ単体だけではなく、複数の関係を空間的に思考することが重要で、それを伝えるためにスケッチや図面といった「想定表現」が必要になります。 その基本的な思考力・表現力を判断するために、実物のモチーフを「想定で立体構成」してデッサンする、という出題でした。「机や背景は描かないこと」としているのは、空間の奥行きや広がりや伝えやすい背景に頼らずに、作者の純粋な立体構成力（空間表現力）を評価出来るからです。	下記のポイントを重視しています。 ・志望理由が明確であるか ・本学科の教育内容を理解しているか ・授業に必要な対話力はあるか ・授業への取り組みの意欲があるか ・海外での経験をどのように活かそうとしているか		
情報デザイン メディア芸術コース	1. 与えられたモチーフをどのようにアレンジして、構成するか。そのアイデアと構成力を判定した。 2. モチーフと手の関係、構図、画面構成力を判定した。 3. 鉛筆による描き込みや色調の整え方など、描写力を判定した。	プレゼンテーションで、これまでの作品などの実績について質問します。 作品履歴だけでなく、クラブ活動・趣味創作に関するものなど、幅広いアクビティに関して質問します。 自分の将来に対する制作ビジョンを明解に話せることがポイントです		
情報デザイン 情報デザインコース	手とモチーフ（消しゴム）の鉛筆デッサンを通じて下記の評価を行なった。 ・対象を見る観察力 ・基礎的な描画力 ・手やモチーフの形・質感などの表現力 ・手とモチーフによる構成力 ・モチーフの特性を考慮した構図の工夫 以上を通じて、観察して描くことに取り組んでもらうことが出題のねらいである。	面接のポイント ・自己アピールなどプレゼンテーション力があるか ・日本語でのコミュニケーション能力があるか ・プレゼンテーションにおいて、作品の制作の意図・過程・結果・価値を説明できるか ・入学後の具体的な学習・研究イメージがあるか ・情報デザインの分野の専門性を理解しているか		
芸術	出題内容を正確に理解し、論述の着眼点が的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、文章を構成し、まとめる力があるか、といった点が判断基準になります。常識的にまとめあげた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心とその研究を進めていくのに十分か、芸術の理論や歴史に関する基礎知識はもっているか、などを判定します。		
統合デザイン	・理解力=問題の把握、理解が正しいか ・観察力=日常の気付きからアイデアを導きだしているか ・発想力=イメージを具体化するアイデアが優れているか ・描写力=構図、形、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・視点=事象を捉える感覚とその表現が適正で感性に優れているか	・入学志望理由が明確であるか ・本学科の内容を理解しているか ・授業に必要な対話力はあるか ・授業への取り組みの意欲があるか		
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース				
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザイン コース				

## 全学科共通小論文

出題)「多様性」について、あなたの考えを述べなさい。(800字程度)

- 帰国生の目から、日本の文化、社会、創作・創造・ものづくりはどのような姿に見えるのか。少なくとも日本と滞在国の二つ、あるいは滞在国でより多くの複雑な多様性を目の当たりにしてきた帰国生の目に写るものを探りたい。
- 文化や創作から離れ、身分、格差、人種、性、年齢、LGBTなどの社会問題に切り込む姿勢も歓迎する。
- 生態系の多様性、といったアプローチも認める。
- 帰国生が本学で成長していくための下地となるものがここで問われると考える。
- 正しい日本語によって書かれているか。また意味内容が明確であり、かつ強い意欲が感じられるかという点についても合わせて考慮した。